

2017年3月期 決算説明会資料

明星工業株式会社
2017年5月22日

目次

I . 2017年3月期決算の概要	P.2
II . 2018年3月期の業績予想	P.10
III . 中期経営計画の進捗(2015年5月8日公表)	P.14
VI . Appendix	P.20

I . 2017年3月期決算の概要

2017年3月期の決算実績

- 売上高は大幅な増加。中期経営計画最終年度(2018年3月期)の計画数値を達成。要因は建設工事業の国内断熱工事、海外断熱工事の伸長、ボイラ事業は減収。
- 営業利益率は建設工事業は12.2%→11.1%に、ボイラ事業は13.3%→7.0%に各セグメントともに低下。

(単位:百万円)

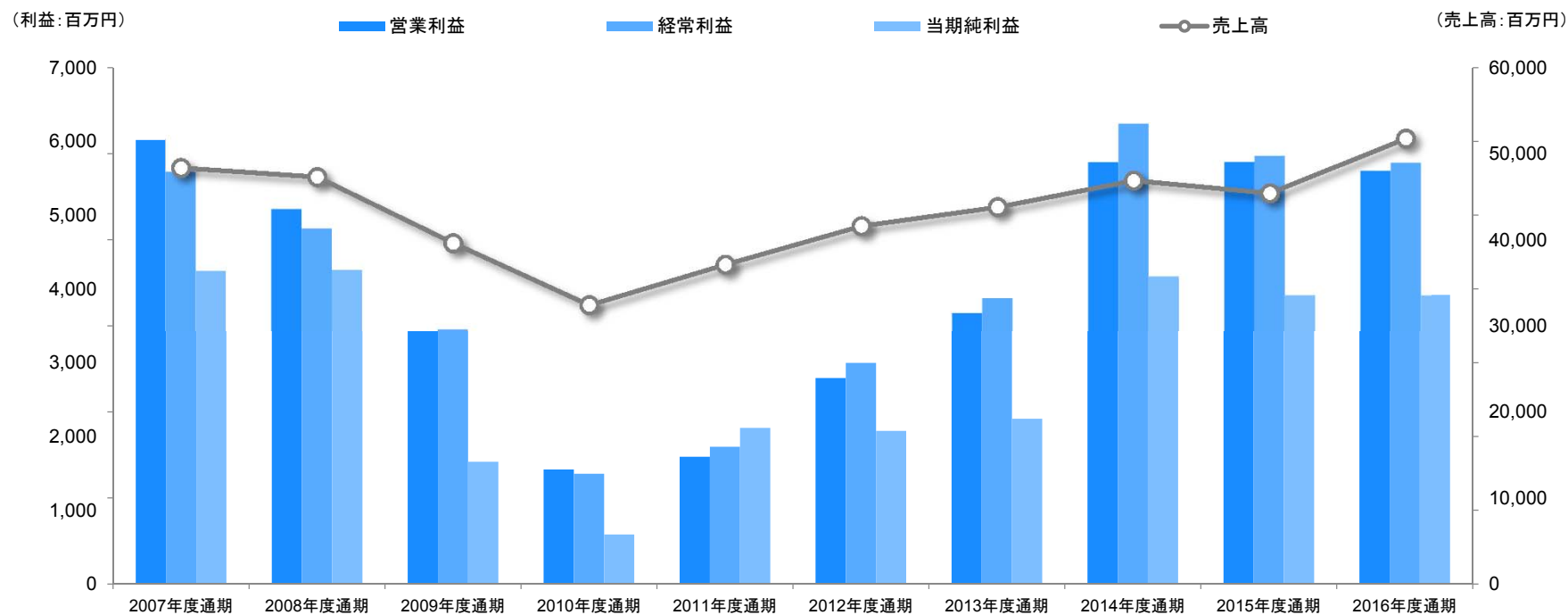
	2016年3月期 実績	2017年3月期			
		実績	前年同期増減 前年同期比	予想 (2017/5/10公表)	増減 予想比
売上高	45,412	51,715	6,302 13.9%	48,000	3,715 7.7%
建設工事業	39,076	46,302	7,225 18.5%	41,500	4,802 11.6%
ボイラ事業	6,336	5,413	△922 △14.6%	6,500	△1,087 △16.7%
売上総利益	9,909	9,834	△75 △0.8%	9,250	584 6.3%
営業利益	5,716	5,596	△119 △2.1%	5,000	596 11.9%
経常利益	5,796	5,706	△90 △1.6%	5,100	606 11.9%
当期純利益	3,923	3,919	△4 △0.1%	3,250	669 20.6%
受注高	43,852	49,348	5,495 12.5%	47,000	2,348 5.0%

業績の推移(過去10期)

■ 2008年度の金融危機により、国内外で縮小していた当社関連需要の増加、バイオマス発電等の増加により、2014年度以降は継続して高水準で売上高、営業利益を計上している。

(百万円)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
売上高	48,335	47,288	39,653	32,504	37,178	41,629	43,813	46,873	45,412	51,715
営業利益	6,020	5,082	3,439	1,552	1,726	2,793	3,684	5,711	5,716	5,596
経常利益	5,583	4,821	3,462	1,494	1,861	2,997	3,883	6,231	5,796	5,706
当期純利益	4,248	4,262	1,658	672	2,116	2,075	2,240	4,176	3,923	3,919



貸借対照表

- 売上高の増加に伴う立替工事資金の増加、設備投資（浜松工場等）による固定資産の増加により、現預金は対前期比減少。

（単位：百万円）

	2016年3月期	2017年3月期	
		前年同期増減 前年同期比	主な増減要因
流動資産	36,050	38,455	2,404 6.7% 現預金の減少 2,538 売上債権の増加 3,886 たな卸資産の増加 946
固定資産	18,412	19,766	1,353 7.4% 有形固定資産の増加 1,011
資産合計	54,463	58,221	3,758 6.9%
流動負債	12,206	11,929	△277 △2.3%
固定負債	3,854	4,818	964 25.0% 仕入債務の増加 1,182 退職給付に係る負債の減少 225
負債合計	16,060	16,748	687 4.3%
純資産合計	38,402	41,473	3,071 8.0% 当期純利益の計上による増加 3,919 その他包括利益累計額の増加 217 剰余金の配当・自己株取得による減少 1,120
負債純資産合計	54,463	58,221	3,758 6.9%

貸借対照表

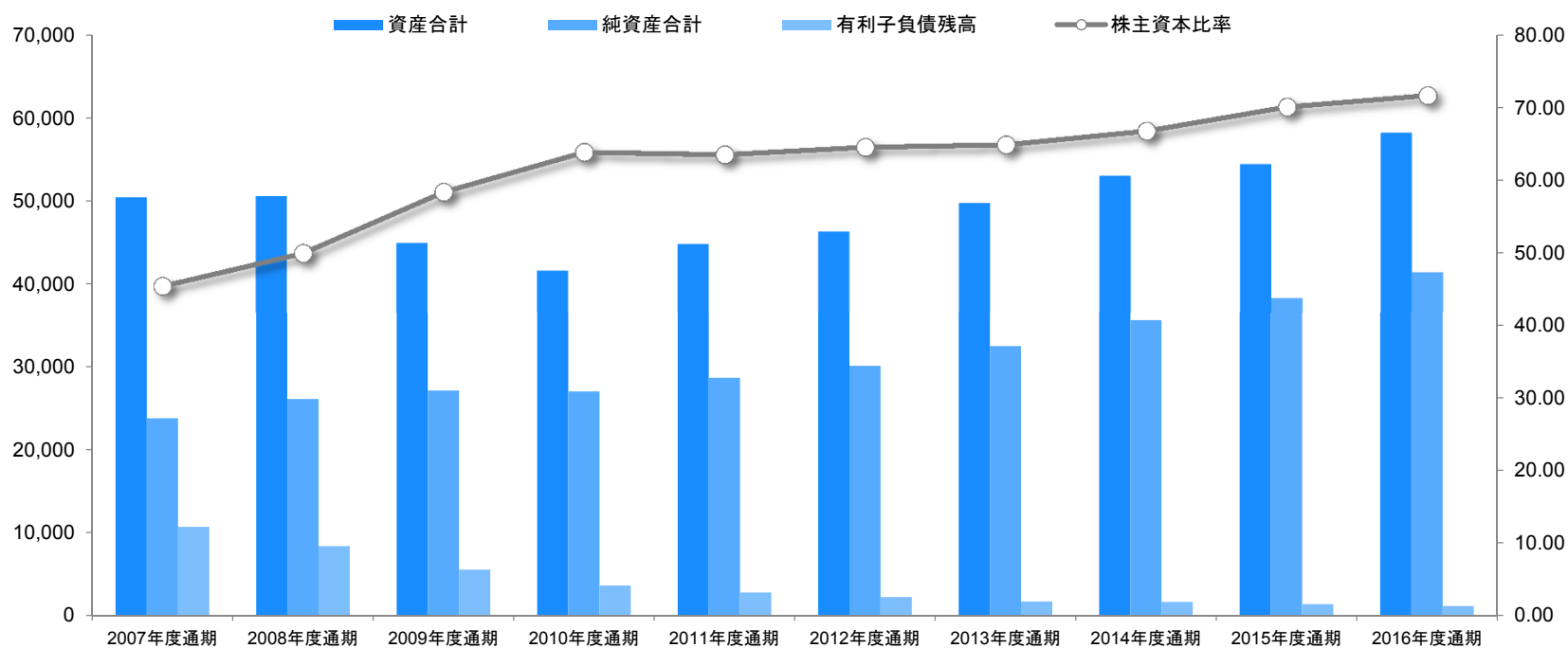
■ 安定した財務基盤の構築に注力する中で、2007年度より合計約47億円、14,631,000株(うち7,000,000株は消却済)の自己株式取得を実施。現在の事業領域が成熟化しており、新たな事業基盤の構築に今後注力。

(百万円)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
資産合計	50,438	50,596	45,009	41,672	44,875	46,375	49,776	53,052	54,463	58,221
純資産合計	23,771	26,101	27,124	27,016	28,660	30,110	32,485	35,613	38,402	41,473
有利子負債残高	10,685	8,352	5,515	3,604	2,750	2,215	1,676	1,628	1,330	1,114
株主資本比率	45.5	50.0	58.4	63.8	63.5	64.5	64.9	66.8	70.1	70.8

(資産・負債:百万円)

(株主資本比率:%)



キャッシュ・フローの状況

- 売上高の増加に伴い、運転資金が3,808百万円増加。浜松工場等の設備投資、自己株式取得等により、現金及び現金同等物の期末残高は2,248百万円減少。

(単位:百万円)

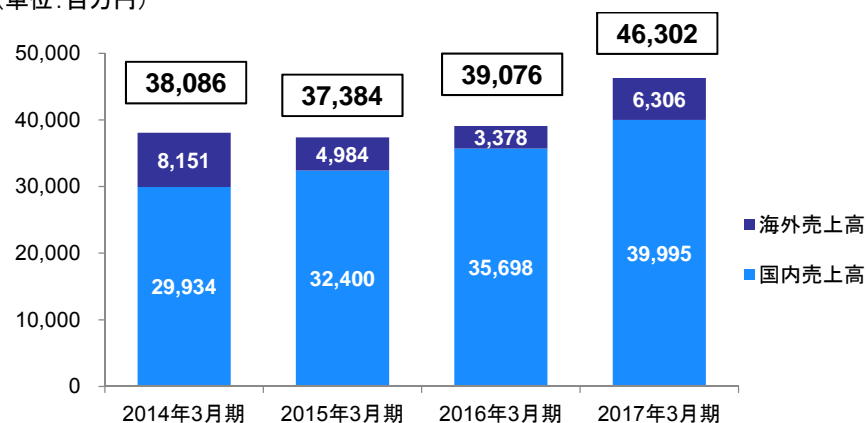
	2016年3月期	2017年3月期		主な要因
			前年同期増減	
営業 キャッシュ・フロー	1,632	399	△1,233	増加要因 税金等調整前当期純利益 5,706 仕入債務の増加 1,182 減少要因 売上債権の増加 3,886 法人税等の支払額 1,952
投資 キャッシュ・フロー	△80	△1,235	△1,155	減少要因 有形固定資産の取得による支出 1,415
フリー・ キャッシュフロー	1,552	△836	△2,388	
財務活動による キャッシュ・フロー	△869	△1,318	△448	減少要因 自己株式の取得による支出 545 配当金の支払額 574
現金及び現金同等物 の増減額	444	△2,248	△2,692	
現金及び現金同等物 の期首残高	14,881	15,325	444	
現金及び現金同等物 の期末残高	15,325	13,077	△2,248	

セグメント情報【建設工事事業】

■ 売上高(4期間)のうち、海外売上高は平均 5,480百万円・割合は14%、海外受注高は平均 5,992百万円・割合は15%。国内の売上高の伸長により、全体の営業利益率(4期間)は平均10.8%を計上。

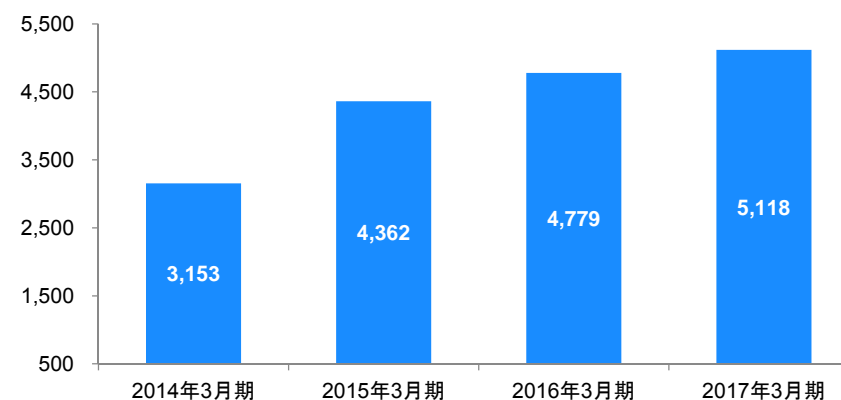
売上高推移

(単位:百万円)



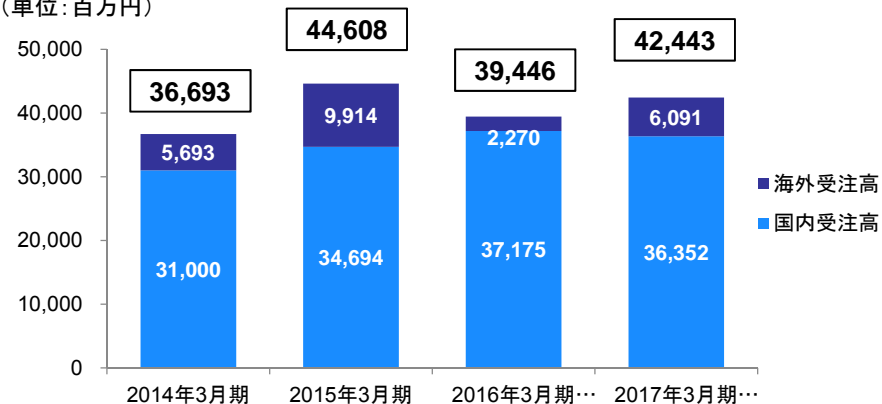
営業利益推移

(単位:百万円)



受注高推移

(単位:百万円)

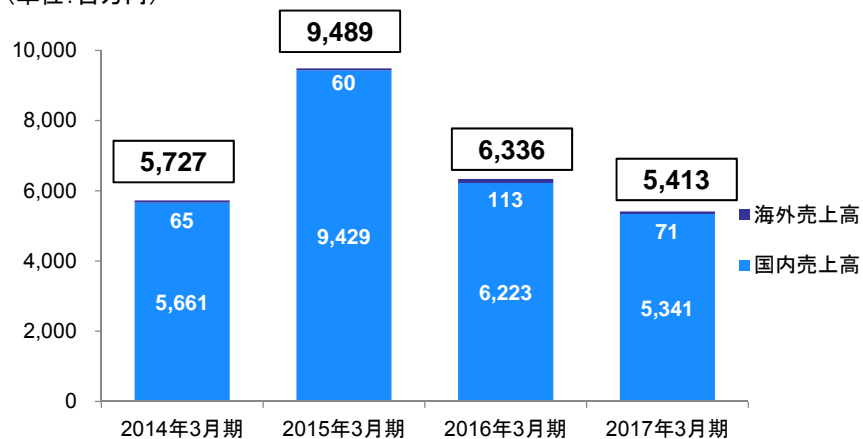


セグメント情報【ボイラ事業】

■ 売上高は前期比減少。2016年3月期の受注高低迷が影響。営業利益は追加コストの発生等により減益。受注高はバイオマス発電等の計上により回復。

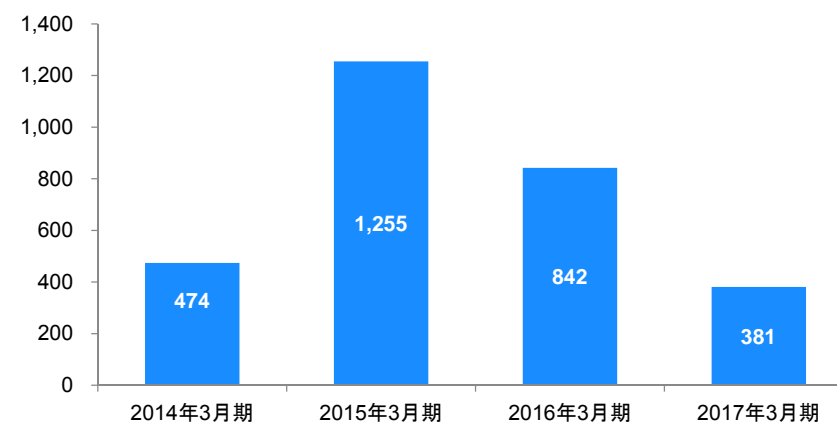
売上高推移

(単位: 百万円)



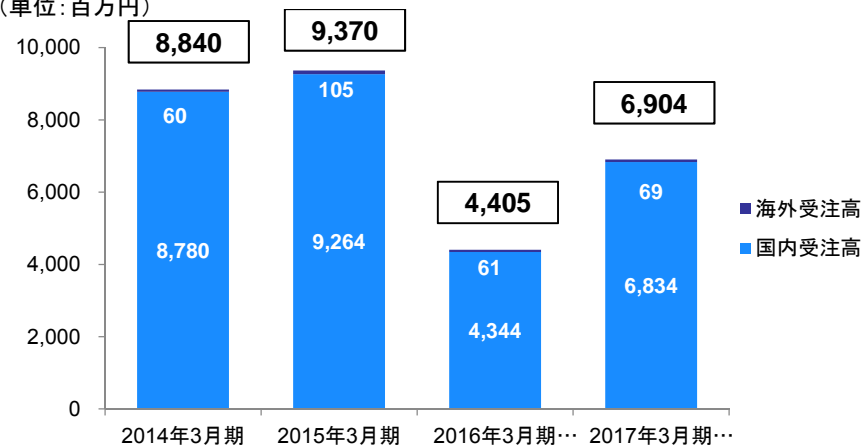
営業利益推移

(単位: 百万円)



受注高推移

(単位: 百万円)



Ⅱ. 2018年3月期の業績予想

2018年3月期の業績予想

- 売上高は建設工事業は海外、LNG運搬船、その他の各領域は堅調に推移する見込。現時点の見通しは工事の進捗等の変動要因により減収、減益の見通し。ボイラ事業は前期受注高の案件が2018年度以降に寄与することにより、前期比横這いの見込。

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期予想	
			増減 予想比
売上高	51,715	50,000	△1,715 △3.3%
建設工事業	46,302	45,000	△1,302 △2.8%
ボイラ事業	5,413	5,000	△413 △7.6%
売上総利益	9,834	9,500	△334 △3.4%
営業利益	5,596	5,000	△596 △10.7%
経常利益	5,706	5,100	△606 △10.6%
当期純利益	3,919	3,400	△519 △13.2%

2018年3月期のセグメント別業績予想

- 建設工事業の売上高はオーストラリア・マレーシア案件の進捗が影響するが、現時点では減収、減益の見込。
- ボイラ事業は前期に引き続き、新規製缶、メンテナンスの受注獲得に注力。

売上高

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	増減
建設工事業	46,302	45,000	△1,302
ボイラ事業	5,413	5,000	△413
合計	51,715	50,000	△1,715

営業利益

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	増減
建設工事業	5,118	4,600	△518
ボイラ事業	381	400	19
消去	97	—	△97
合計	5,596	5,000	△596

受注高

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	増減
建設工事業	42,443	43,500	1,057
ボイラ事業	6,904	6,500	△404
合計	49,348	50,000	652

受注残高

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	増減
建設工事業	14,669	13,169	△1,500
ボイラ事業	5,792	7,292	1,500
合計	20,462	20,462	0

利益配分、株式の状況

- 17年3月期は直近業績を勘案して期末2円増配、年間14円を予定。
- 18年3月期は利益配分の基本方針として、安定配当12円の継続に加えて配当性向30%程度の目標を設定。

17年3月期

- 安定的な利益還元
- 弾力的な自己株取得の実施

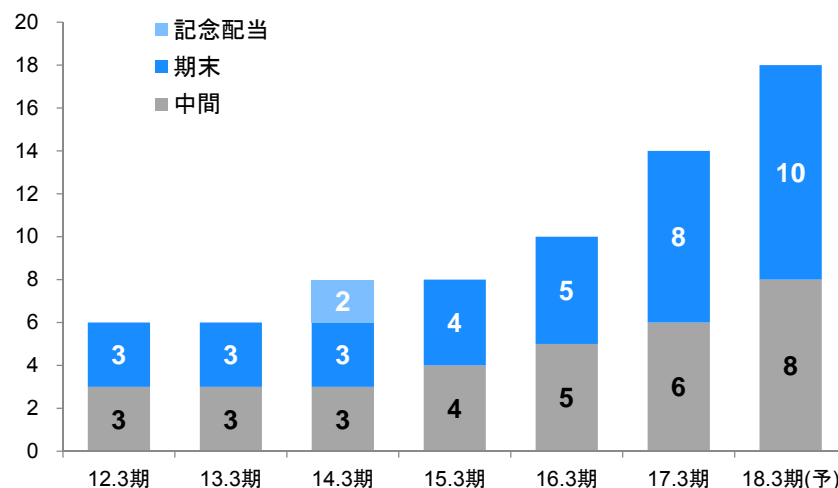
中間	6円
期末	8円
合計	14円
	実施

18年3月期

- 配当12円/1株、又は配当性向30%程度の何れか高い方を目標
- 弾力的な自己株取得の実施

中間	8円
期末	10円
合計	18円
	予定

1株配当金の推移



※2014年4月1日をもちまして創業70周年を迎えたため、2014年3月期末において記念配当を実施

自己株式取得について

2017年3月末時点の自己株式の保有状況

- 発行済株式総数 59,386,718株
 - 発行済株式総数(自己株式除く) 51,812,551株
 - 自己株式数 7,574,167株

(自己株式の取得決議)2016年2月22日開示・実績

- 株式総数 1,500,000株
- 取得価額の総額 690,016,470円
- 取得期間 2016年2月23日～7月8日

Ⅲ. 中期経営計画の進捗 (2015年5月8日公表)

中期経営計画の概要

- 従来の経営基盤をさらに強化し、未来への飛躍に向けた第一歩として夢と誇りある企業を目指した中長期経営を実現するため、新たに3か年の中期経営計画を策定。

中期経営計画2015年～2017年の概要 (2015年5月8日公表)

基本方針

- 飛躍に向けて限りなく挑戦
- 収益力・成長力・技術力の一層の向上

計画概要

- ① **企業力の強化**
差別化、コスト競争力の強化、顧客満足度の向上等
- ② **事業領域の拡大と強化**
新たな事業領域の拡大・創出、グローバルな事業展開
- ③ **組織基盤の活性化**
事業環境に応じた弾力的・機動的な組織体制の構築
- ④ **社会的責任の推進**
企業の社会的責任の強化

中期経営計画の数値目標と実績・予想

■ 2015年5月公表の中期経営計画に対しては2期間計画数値を達成。2018年3月期は対前期比減収、減益の見通し。

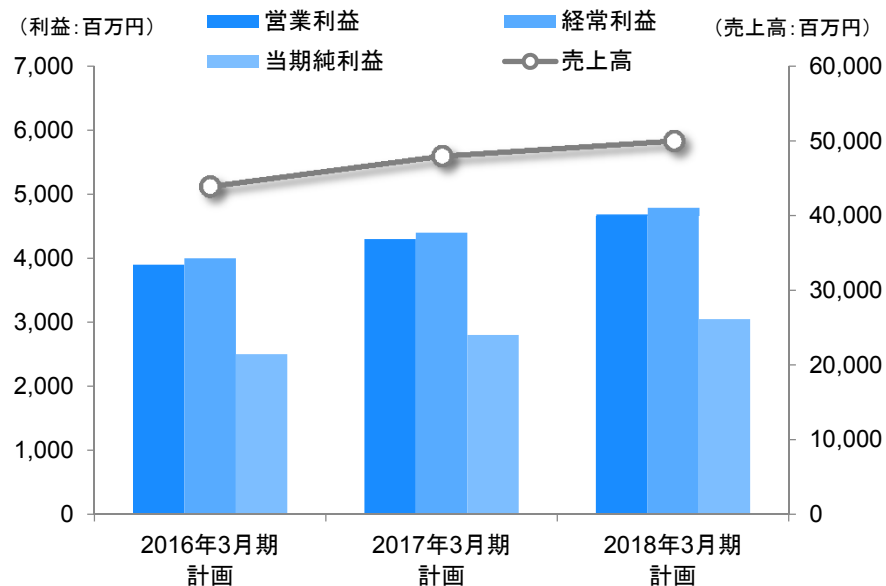
(単位:百万円)

【連結】	2016年3月期 計画	2017年3月期 計画	2018年3月期 計画
売上高	44,000	48,000	50,000
営業利益	3,900	4,300	4,700
経常利益	4,000	4,400	4,800
当期純利益	2,500	2,800	3,050

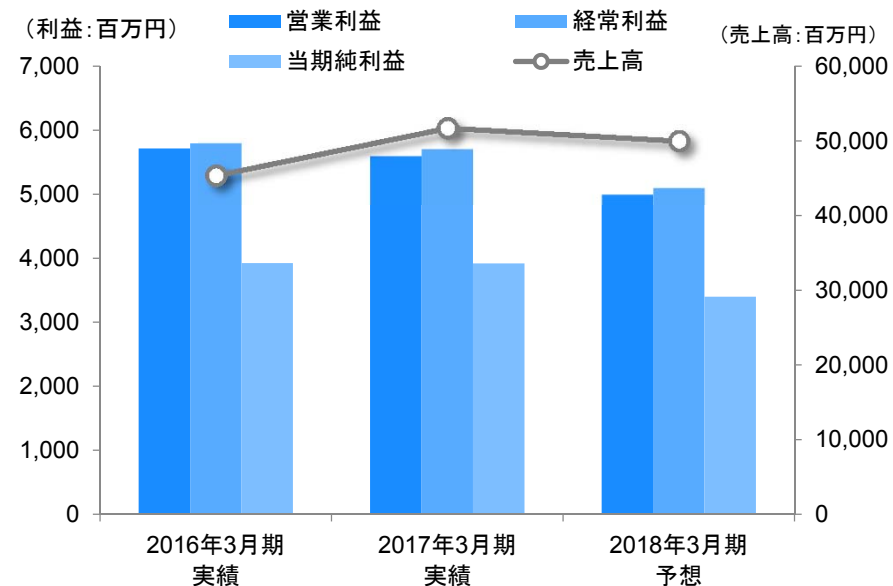
(単位:百万円)

【連結】	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想
売上高	45,412	51,715	50,000
営業利益	5,716	5,596	5,000
経常利益	5,796	5,706	5,100
当期純利益	3,923	3,919	3,400

中期経営計画



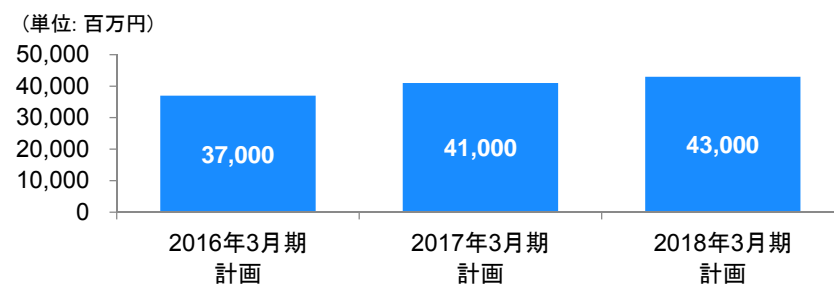
実績 & 予想



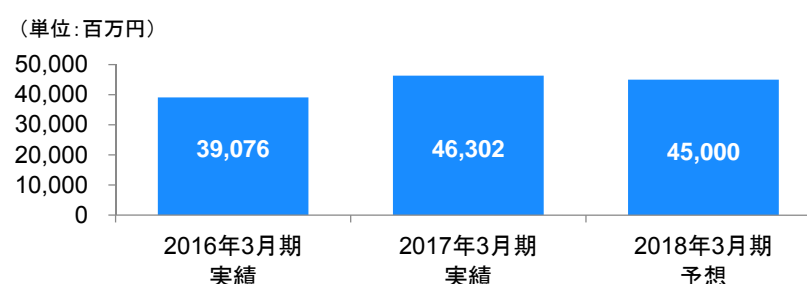
セグメント情報【建設工事事業】

- 2017年3月期は計画比、売上高、営業利益、受注高が増加。
- 2018年3月期は計画比は増加する見込であるが、対前期比では減収、減益。

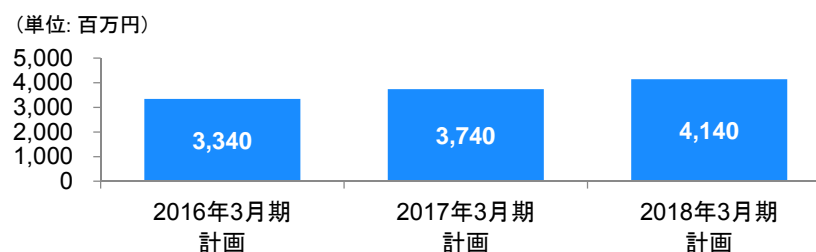
中期経営計画売上高推移



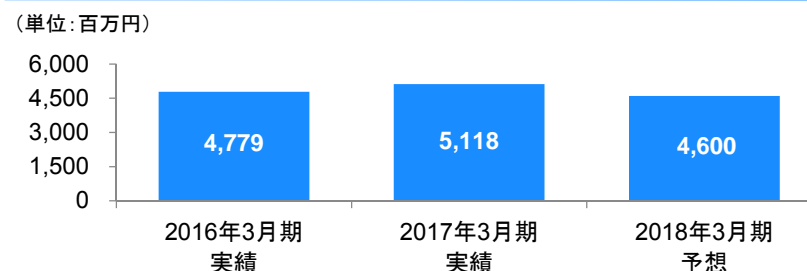
売上高推移



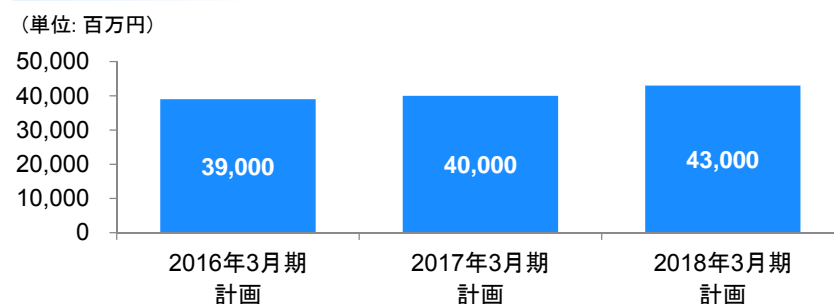
中期経営計画営業利益推移



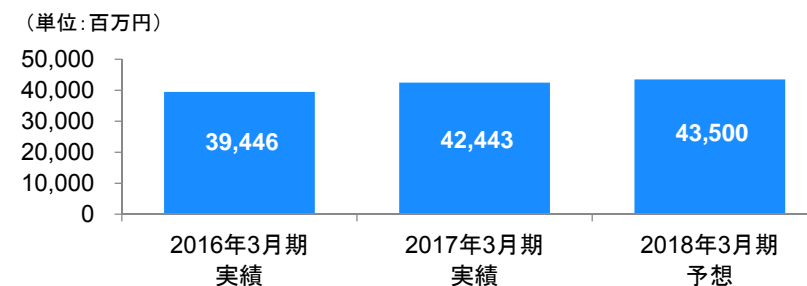
営業利益推移



中期経営計画受注高推移



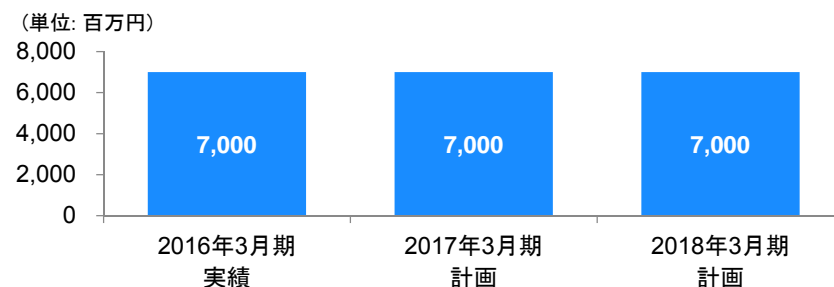
受注高推移



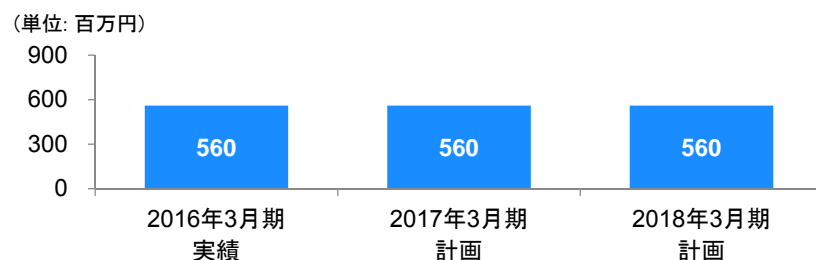
セグメント情報【ボイラ事業】

- 2017年3月期は計画比、各項目で未達。
- 2018年3月期は計画比に対して厳しい状況であるが、受注の獲得に注力。

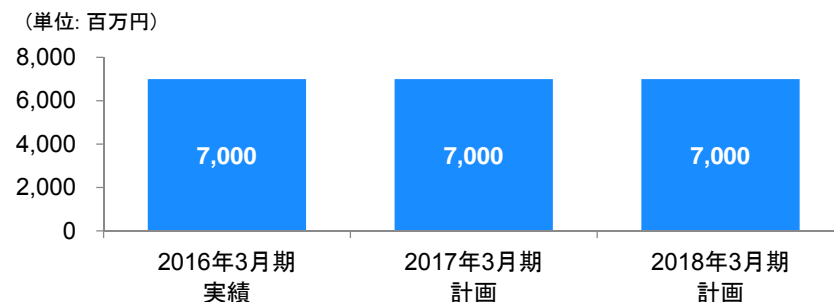
中期経営計画売上高推移



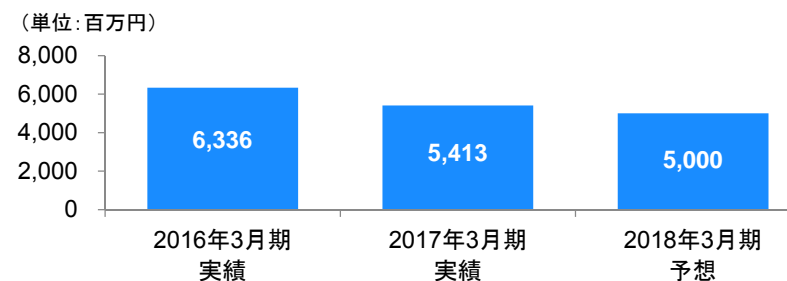
中期経営計画営業利益推移



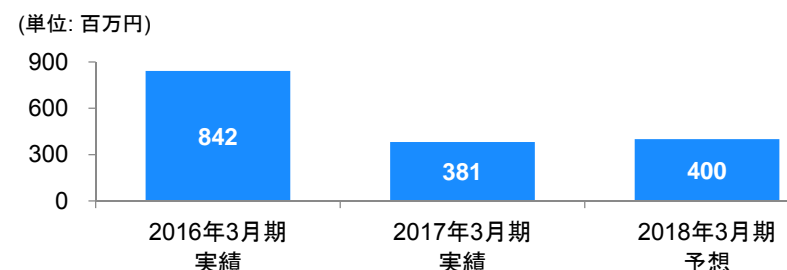
中期経営計画受注高推移



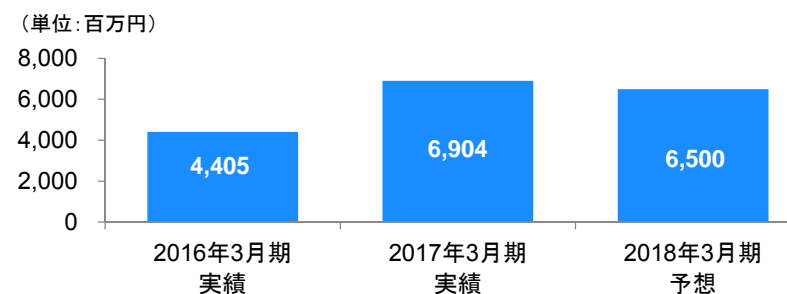
売上高推移



営業利益推移



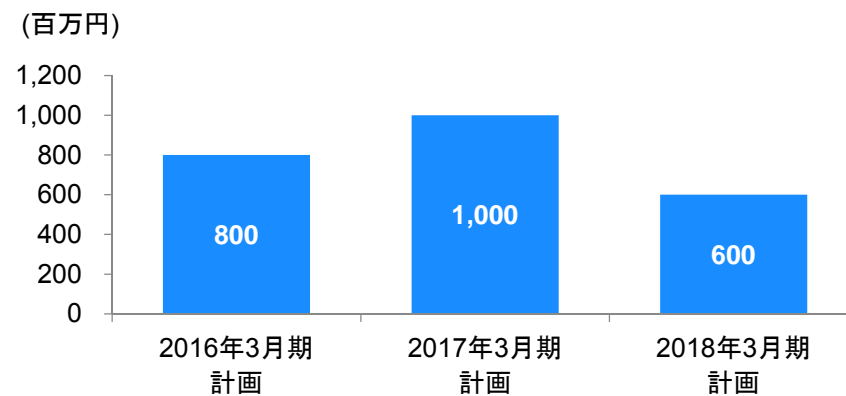
受注高推移



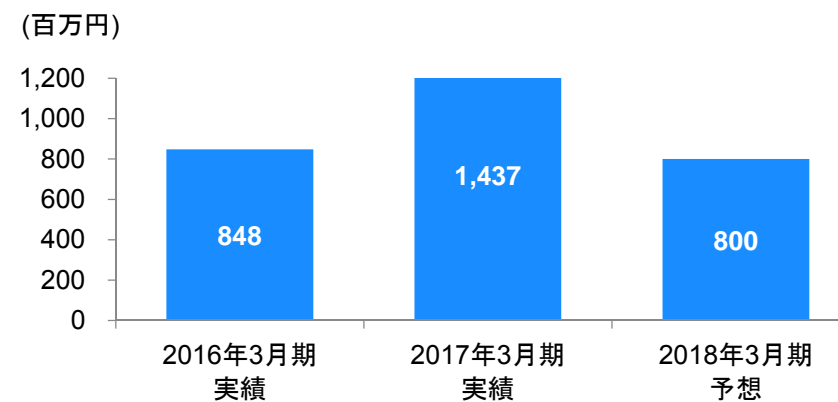
設備投資計画

- 浜松工場の設備投資は中期経営計画どおり実施中。2017年度計画は生産との関係もあり2018年度に延期予定。

中期経営計画 設備投資額推移



設備投資額推移



<LNG船(モス方式)>



<LNGタンク防熱(パネル工法)>



<LNG船モス方式球形タンク用防熱パネル>

IV. Appendix

会社概要

(2017年3月31日現在)

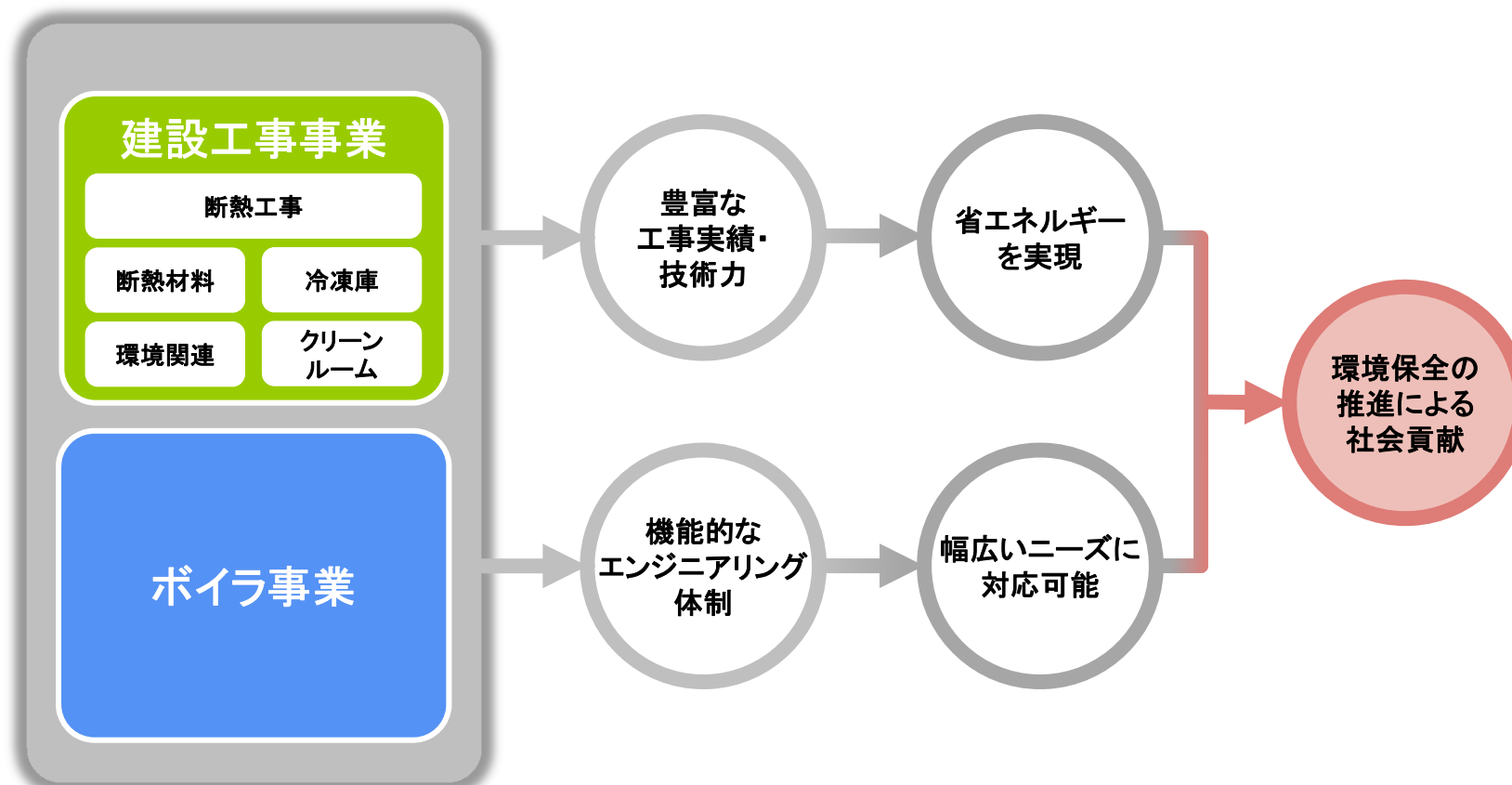
設	立	1947年7月2日				
本	社	大阪府大阪市西区京町堀一丁目8番5号				
資	本	金	6,889百万円			
決	算	3月				
代	表	者	代表取締役社長 大谷 壽輝			
従	業	員	数	316名 (連結626名)		
発	行	済	株	式	数	59,386,718株 (うち自己株式 7,574,167株)
株	主	数	23,364名			

グループ企業(連結子会社)

	国内	海外
建設工事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明星建工株式会社 ■ 日本ケイカル株式会社 ■ 株式会社エムエステック ■ メイセイ工事株式会社 ■ 株式会社メイセイクリエート ■ 明星松山工事株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> ■ MEISEI INTERNATIONAL PTE.LTD. (シンガポール) ■ PT. MEISEI INDONESIA (インドネシア) ■ MEISEI NIGERIA LIMITED (ナイジェリア) ■ MEISEI INTERNATIONAL CO., LTD. (タイ) ■ SMI GLOBAL SDN. BHD. (マレーシア)
ボイラ事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社よしみね 	—

事業内容

- 明星グループは、断熱工事のノウハウをコアの技術とした建設工事業（断熱工事・断熱材料・冷凍庫・環境関連・クリーンルーム）とボイラ事業を行っております。
- 長年培ってきた豊富な工事实績・技術力を活かし、省エネルギーの実現を図っております。また、機能的なエンジニアリング体制を構築することで、顧客の幅広いニーズに対応しております。
- 省エネルギーの実現と顧客の幅広いニーズに対応し続けることにより、「環境保全の推進による社会貢献」を目指しております。



断熱工事

保温・保冷

保温(30°C~650°C)
防露(0°C~30°C)



<化学プラント等>

- 省エネルギー
- 所定温度の維持
- 災害防止
- 結露防止

築炉耐火・耐火断熱

耐火築炉(1200°C~2000°C)
耐火断熱(650°C~1200°C)



<加熱炉内セラミックファイバー施工>

- 燃焼効率の向上
- 構造物の保護

耐火被覆

火熱による倒壊を防止するための工事



<球形タンク脚柱耐火モルタル被覆>

- 石油精製・石油化学・液化ガスプラントなどのパイプラック
- 機器スカート
- ケーブルトレイ

LNG・LPG

保冷・超低温
(マイナス162°C~0°C)

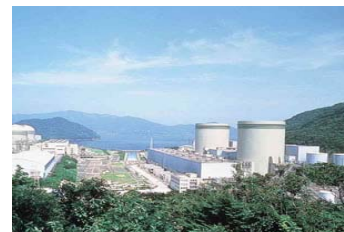


<LNG船(モス方式)>

- 温度上昇の防止
 - 気化の防止
- LNG(液化天然ガス)
LPG(液化石油ガス)

原子力

原子力発電プラントの断熱



<原子力発電所>

- 一般の保温技術に加えて、放射能汚染を防止など、特別に設計された精度の高い材料と工法

【需要エリア】

- 海外LNGガス出荷基地(液化装置)
- LNG・LPG運搬船
- 国内LNG受入基地(受入タンク)



<LNGタンク防熱(パネル工法)>

その他

断熱材料

- けい酸カルシウム保温材のトップメーカー
- 国内外の主に石油化学、火力及び原子力発電、製鉄や都市ゴミ焼却場等各分野のプラントで幅広く使用されている



<けい酸カルシウム保温材>

冷凍庫

- 冷熱のトータルエンジニアリング築造冷蔵庫・パネル冷蔵庫等の防熱工事
- 結露対策及びメンテナンス



<冷設・防熱工事>

環境関連

- コンクリート構造物の補修・補強
- 焼却場設備
- 煙突
- 防音
- アスベスト除去



<高架橋橋脚の補修>

クリーンルーム

最先端の作業環境を提供

- 半導体・液晶パネル等のエレクトロニクス産業
 - 医学・薬学等のバイオテクノロジー産業
 - 食品加工・工場農業等の分野
- クリーンルームの需要(利用)分野が拡大している



<クリーンルーム>

ボイラ事業

当社のボイラ

水管式固形物 燃焼ボイラ	石炭、木屑、ゴム、バガス、オイルパーム、もみがらなど、燃焼物に応じた燃焼システムの選定が可能なボイラ
水管式パッケージ ボイラ	上下ドラムに垂直な水管を連結した対流伝熱部と、全面輻射水冷壁構造の燃焼室をもつ可搬式パッケージボイラ
水管式廃熱 ボイラ	廃ガスの性状に応じたボイラ
水管式排熱 ボイラ	排ガスの性状に応じたボイラ

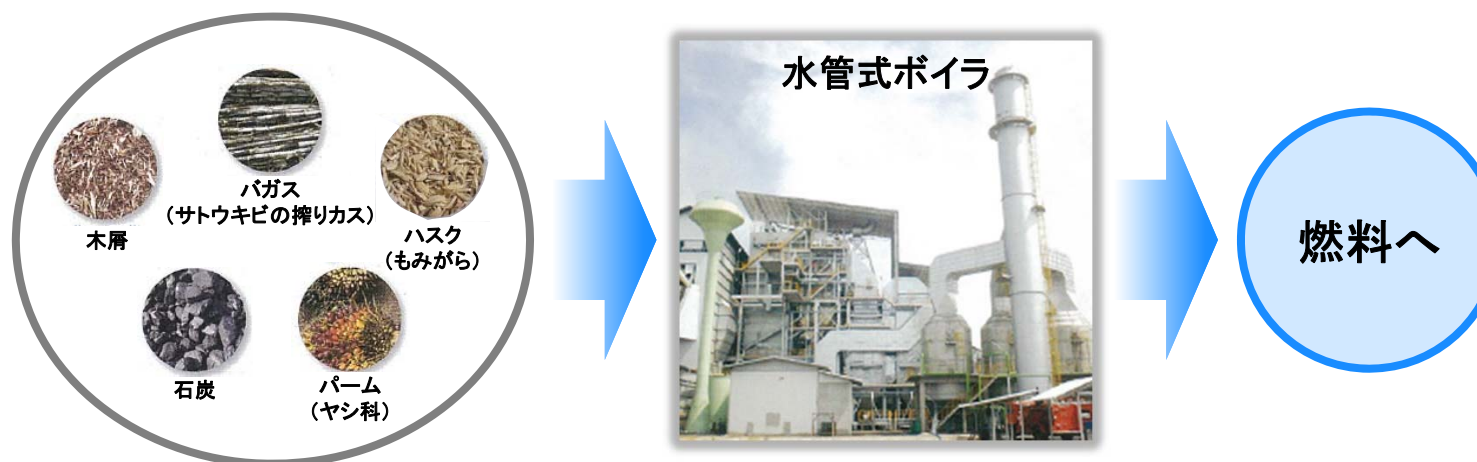
バイオマス発電

バイオマスとは、化石資源を除く動植物に由来する有機物であり、「カーボンニュートラル」なエネルギー源として利用可能なもので、利用と同時にバイオマス育成することによって追加的にCO2が発生しない再生可能エネルギーです。

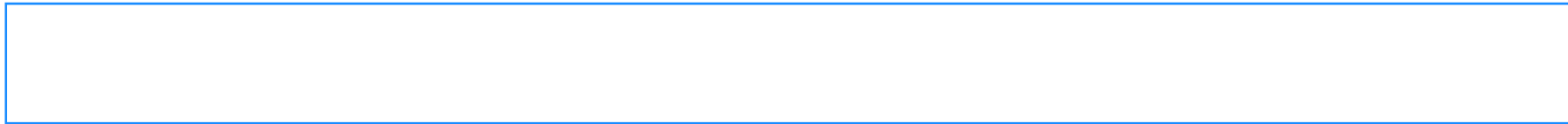
海外事業への取り組み

- 1960年代前半よりアジア、中東、アフリカ、南米など世界30カ国以上に進出
- 納入実績：約500缶
- 国内で使用される燃料の他に、海外特有のバイオマス燃料を販売
- 海外での圧力容器制作、部品調達

燃焼技術で低炭素社会・循環型社会の実現



主要プロジェクト受注実績



JOB RECORD FOR MAJOR OVERSEAS PROJECT	 MEISEI Industrial Co., Ltd.	
---------------------------------------	--	--

YEAR	OWNER / CLIENT	LOCATION / COUNTRY	PROJECT NAME	WORK CATEGORY	
受注案件	PRPC Refinery and Cracker SDN. BHD.	Johor, Malaysia	RAPID Project	石油・化学プラント	Insulation ,Fireproofing Work and Scaffolding Work 断熱・耐火・足場工事
遂行中	INPEX Operations Australia Pty Ltd	Darwin, Australia	Ichthys LNG Project	LNGプラント	Painting, Surface Protection,Fireproofing and Insulation Works 断熱・耐火・塗装工事
2014	Donggi-Senoro LNG	Sulawesi, Indonesia	Donggi-Senoro LNG Project	LNGプラント	Insulation/Common Scaffolding Work 断熱・足場工事
2014	TOKUYAMA MALAYSIA SDN. BHD.	Bintulu, Malaysia	TMP2 Project	石油・化学プラント	Insulation/Painting Work 断熱・塗装工事
2014	Esso Highlands Limited	Papua New Guinea	PNG LNG Project	LNGプラント	Insulation/Painting Work 断熱・塗装工事
2012	Esso Highlands Limited	Sattahip, Thailand	PNG LNG Project - Jetty module	LNGプラント	Insulation Work 断熱工事
2012	TOKUYAMA MALAYSIA SDN. BHD.	Bintulu, Malaysia	TMP Project	石油・化学プラント	Insulation/Painting/Common Scaffolding Work 断熱・塗装・足場工事
2011	Saudi Polymers Company	Jubail, Saudi Arabia	NCP Project	石油・化学プラント	Insulation Work 断熱工事
2008	BP Bureau Ltd	Papua, Indonesia	Tangguh LNG Project	LNGプラント	Insulation/Common Scaffolding Work 断熱・足場工事
2008	Shell Eastern Petroleum Pte.Ltd	Singapore	ECC Project Process 3	石油・化学プラント	Insulation and Fireproofing Work 断熱・耐火工事
2007	Nigeria LNG Ltd.	Bonny Island, Nigeria	Nigeria LNG Train6 Project	LNGプラント	Hot/Cold Insulation and Fireproofing Work 断熱・耐火工事

国内・海外ネットワーク

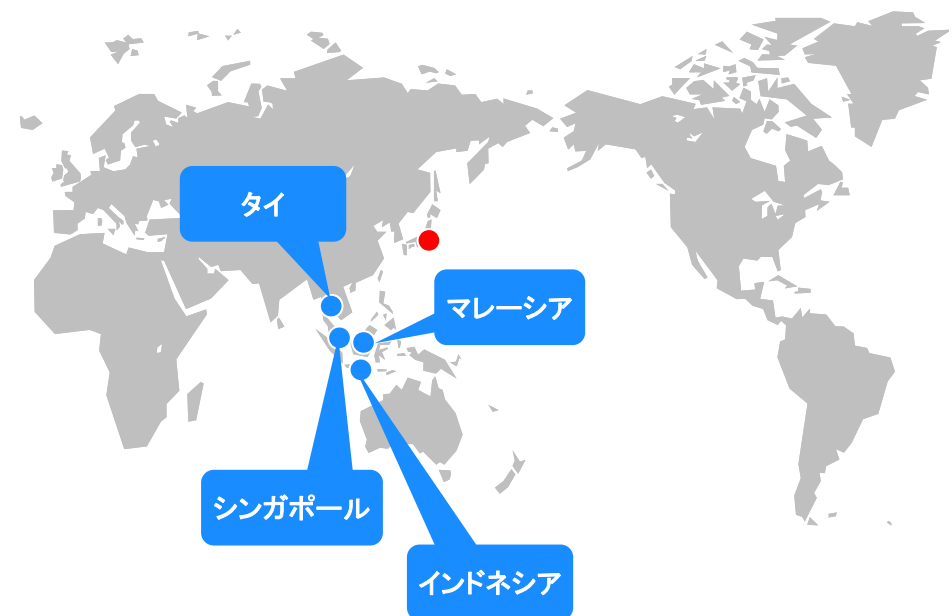
- 主要工業地帯や発電所を中心に、全国37箇所に営業所を配置し、日常メンテナンス工事を継続的に受注。
- 本社・東京本部を中心に、国内外における新規建設・メンテナンス案件の獲得に注力。

国内事業所



事業所			
● 東部支店	12営業所	● 中国・四国支店	10営業所
● 近畿・中部支店	7営業所	● 九州支店	8営業所

海外事業所



海外実績	
▶ 東南アジア	▶ 中近東
▶ アフリカ	▶ オセアニア
▶ 東欧	▶ 南アメリカ

お問い合わせ先

明星工業株式会社 財務部

〒550-0003

大阪市西区京町堀一丁目8番5号

TEL 06-6447-0275

FAX 06-6448-5321

URL <http://www.meisei-kogyo.co.jp>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料に記載しております当社の計画及び業績予測は、現時点で入手可能な情報に基づき算定しておりますが、業況の変化等多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績が予想数値と異なる可能性がございますことを予めご承知おきいただきますようお願いいたします。